

水産技術交流プラザセミナーのお知らせ

セミナー①「閉鎖循環飼育システムの開発と実証化」

水産総合研究センター 屋島栽培漁業センター 山本 義久

日時：平成21年2月4日（水）10:15-11:00

世界的な魚需要の急増により養殖産業の重要性がますます高まりを増す中、陸上での閉鎖循環飼育の持つ長所により安全・安心で効率的な水産物の生産が可能となると考えられます。水産総合研究センター屋島栽培漁業センターでは閉鎖循環飼育が持つ4つの長所（環境保全・疾病防除・経費削減・高生産性）を海産稚魚の飼育試験で検証すると共に閉鎖循環飼育に適した飼育方法の研究を行っています。また、低価格で高性能な普及タイプのシステム開発として、従来の装置の約2倍の硝化能力がある間歇ろ過硝化機能活性化生物ろ過装置と泡沫分離装置を組み込んだ画期的な閉鎖循環飼育システムを開発し、産業的普及を目指しています。

セミナー②「カタクチイワシの新しい加工技術と付加価値アップⅢ」

水産総合研究センター 中央水産研究所 利用加工部 石田 典子

日時：平成21年2月5日（木）11:00-11:45

カタクチイワシの資源は膨大にあるのに、その多くは有効に利用されていません。特に小型で、脂の乗った脂イワシは廃棄されることも少なくありません。「脂イワシを廃棄せずに何とか利用したい！」という目的で、水産総合研究センターではカタクチイワシの新しい加工技術と付加価値アップに取り組んでいます。本講演では研究の成果として、「魚体を丸ごと使った新しいすり身」について紹介します。

場所：ジャパン・インターナショナル・シーフードショー大阪会場内
特設ステージ（アジア太平洋トレードセンター内 ATC ホール）
（大阪府大阪市住之江区南港北 2-1-10）

参加費：無料、事前登録制

参加登録はジャパン・インターナショナル・シーフードショー大阪のホームページよりお願いします。

http://www.exhibitiontech.com/seafood/osaka_seminar.html

お問い合わせ先：水産総合研究センター水産技術交流プラザ事務局

Tel 045-227-2718 Fax 045-227-2702

e-mail : suisanplaza@ml.affrc.go.jp